

THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA SOUTH-WEST



広島西南ロータリークラブ会報

MANKIND IS OUR BUSINESS ～人類が私たちの仕事～

会長/猫本 幸雄 幹事/中山 忠之 例会場/広島全日空ホテル 広島市中区中町7-20
副会長/白築 忠治 副幹事/田中 茂樹 事務局/広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F
会報編集委員長/谷口 公啓

■ 会長時間 (猫本会長)

本日は、職業奉仕委員担当で奉仕月間に因んだプログラムを用意して頂きました。先ず、優良社員の方、日頃から地域の奉仕活動を続けてこられた方をお招きして、感謝の気持ちを表すことと致しました。続いて伊野木勲様に「生き甲斐としてのボランティア」と題して卓話を頂きます。

さて、一見長閑で、平和に見える日本ではございますが、ついに昨日、米国と英国がアフガニスタンの軍事施設を空爆しました。今後、このことがどのように展開して行くのか、とても危険な状況になって来ました。この件、一言、事実のみ触れておきます。

■ ミニ卓話 (三島会員)

今月結婚記念日を迎えられる会員を代表し、三島会員からご挨拶を頂きました。

■ 幹事会務報告 (中山幹事)

本日は例会変更のお知らせ等、特にはございません。

■ 出席報告 (金森会員)

本日(10月9日・火曜日)

会員数	70名	出席者	53名
欠席者	17名	ゲスト	5名
ご来賓	1名	ご来客	13名

前々回(第729回例会 9月25日・火曜日)

会員数	71名	免除者	1名
出席者	53名	欠席者	16名
メーキャップ	15名		
出席率	98.57%		

■ 優良社員、及び地域ボランティアの方々の表彰

(宮本職業奉仕委員長)

詳細は次週の週報に掲載致します。

■ 卓話 ～生き甲斐としてのボランティア～

生きている証は感動

伊野木 勲 様



§ . はじめに

41年に及ぶ会社生活を卒業し、残りの半生の生き甲斐を何に求めるか模索した結果、ボランティアの世界にその解答を見出した気がします。

ひとりの引退者の生き甲斐さがしの軌跡と、「感動」を求めて流浪する生活を紹介、ご参考に供したいと思います。

1. 定年後の生き甲斐さがし

行動の軌跡 (思索編) 現役時代人間関係に疲れたので、定年後は出来るだけ人間関係と縁の薄い絵画・園芸・スポーツなどの趣味の世界を選ぶひとが多くあります。私の場合は、社会とくに地域社会との関わりを求めて、ボランティアの世界を選んでしまいました。本質的には人間が好きなのでしょう。

ボランティアの世界に入る必要条件としては、(1) 動機、きっかけ、(2) 特技、(3) 社会のニーズ察知能力 があると思います。

私の場合、母の介護経験から「老化が進行すれば他者の世話になる」という現実認識、渡辺一雄氏の講演聴講(これが背中を押した)、少年時代からのものづくり趣味、県立福祉大の支援(大塚先生)、三原市社協の支援などの条件が、うまくマッチした結果スムーズに立ち上がったと思います。

本年度会長テーマ

「人の輪、絆を大切に ロータリー」

<http://hiroshima.southwest.rotary2710.net>

行動の軌跡(実践編) 「みはらタコ工房」発足後、自助具のニーズを知るには、障害者・高齢者の生活をもっと深く知る必要があるとの考えから、関連する講座出席、関連ボランティア・グループ入会と、精力的に交際範囲を拡大してきました。

ここで私の得たものは、「弱者の目線の高さ」、「バリアフリー」という重い課題でした。同時に、「熱き心」を持つ人達とのすばらしい出会いでした。

「フィランソロピーに目覚める6段階」

私が特に気に入った図です。ジャンプの前で躊躇しているひとにどう支援するかが、私の課題です。

「みはらしのよい福祉ガイド」

三原ケアネットワークが制作したものです。

2. 自助具ボランティア「みはらタコ工房」の紹介

「みはらタコ工房」PR チラシ

活動の状況を紹介したものです。

ボランティアの使命

原則は、市販品にない道具の制作ですが、時に住宅改造(介護保険対象外のものに限定)をやる場合があります。広島県内に自助具分野のボランティアが、他にはない模様でさびしい。

3. ボランティアの報酬は「感動」

やっさ祭り

「明日に架ける橋」チームに参加した障害者から「三原のひとのおおらかな包容力に感謝、三原に住みたい」、「踊り出場の帰り、糸崎沖の漁り火を見て来年も出ると決心した」のメールあり。

自分にマッチした自助具さがし

「とても使いやすい。外出の時はいつも携帯しています。食堂では一躍有名人みたいです」の礼状あり。

わが町の宝さがし

「これからも中之町のことをもっと調べていきたいです。そして中之町はかせになりたいです。こんどはわたしが教えてあげたいです」
(中之町小学校 4年女児 感想文)

4. 人生至福の時とは何時か

私の「プロジェクトX」

私の「プロジェクトX」は、チェコの2エチル・ヘキサノールプラントでした。32年前建設したプラントが動いていること自体奇跡ですが、再訪計画が実現し、家族が参加してくれたことはまた幸運で、感激という他ありません。これぞ「至福の時と実感しました。

5. ロータリークラブへの期待

ロータリークラブを愛する元ロータリアンのつぶやきを聞いて頂きたいと思います。

地域社会とのつながり

三原市の場合、私の活動領域でロータリークラブの足音は殆ど聞こえません。ライオンズクラブやJCとは多くの接点があるのに何故かと、残念です。「顔の見えるRC」" Show your flag!" を期待します。

テーマ発掘能力と行動力

テーマを見つけ、それを行動計画に展開するには膨大なエネルギーが必要です。知恵はあるが時間がないが本音と見ます。しかし優秀な知能集団に解決策がないとは思えません。自分の行動による直接的感動を味わって頂きたいと思います。

ロータリアンの「熱き心」

ロータリーとライオンズの違いについて、先輩会員から、" I serve " と " We serve " の違いと教わりました。広島市内には、マツダ、NTT など多数の企業がフィランソロピー(社会貢献)を実践しておられると聞きます。フィランソロピーを実行する企業が増えれば社会が変わり、名実ともに日本が先進国になると思います。ロータリークラブの存在意義は、社会に役立つ存在かどうかにあると思います。貴クラブ会員が「熱き心」を発揮されることをお祈りします。

§. まとめ

私は、定年後の生き甲斐をボランティアの世界に見つけました。そこで多くの「感動」を体験することができ、この瞬間は2度とない、今が「至福の時」と思えるようになりました。

今後も健康である限り、生きている証「感動」を求める流浪の旅を続けたいと思います。この報告が、少しでも参考になれば幸いです。

以上

■ お知らせ

ホームページに職業分類表を掲載しました。
トップページ 委員会情報 職業分類委員会と、たどってください。

本年度会長テーマ

「人の輪、絆を大切に ロータリー」

<http://hiroshima.southwest.rotary2710.net>